

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール岡山豊成			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数)	48
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グループ療育の充実：今年度より年少グループを新たに開始し、既存の年中・年長グループを合わせて、年齢や発達に応じて継続した支援ができるグループ構成が整っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスでは、それぞれの職員の見立てを基に意見を出し合い、一人ひとりの支援の方向性について丁寧に話し合いを行っている。また、グループごとのねらいも明確にし、年齢や発達に適した活動を組み立てている。 ・おさま同士の関わりが自然に生まれるような遊びや活動(リトミック・共同製作・協力ゲームなど)を取り入れたり、環境設定を行ったりしている。また、おさまが楽しみながら友だちと一緒に学び合うことを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年少・年中・年長グループの支援内容を見直ししながら、より継続した支援ができるようにしていく。 ・保育園との情報共有や研修を活用し、より質の高い支援を実践していき、園生活に活かせる力が身に付くようにしていく。
2	個別療育の充実：関係機関(園・学校・相談支援事業所など)と連携することで、園での姿(得意なこと・課題となることなど)を知り、個別療育の支援に反映することができ、支援の充実に繋がっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスや支援会議で、おさま一人ひとりの成長・発達・課題について全職員で丁寧に話し合い、支援方針を明確にしている。また、話し合いの時間を充実させることで、どの職員も全てのおさまについて理解できる体制ができており、一貫した支援の提供に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や事例検討会など学びの時間を大切にし、さらに支援の質を高めていく。 ・関係機関との連携をより密にし、園と事業所での支援の方向性の共通認識を図る。
3	個別・グループ双方の家族支援が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別家族支援：保護者さまの悩みや困りごとなど、相談しやすいと感じられるように、日頃から信頼関係を大切にしている。 ・グループ家族支援：「就学先の選択」に関する保護者交流会や、日頃の悩みを共有する座談会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「就学先の選択」以外にも、保護者さまのニーズに沿ったテーマを増やすことで幅広く対応できるようにする。 ・今年度、保護者交流会の希望の声が多く、今後は回数も増やしていきさらに保護者さま同士の交流が深まるようになっていく。また、参加しやすいように時間帯やおさまの預かりなど検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流機会が少ないこと。	今年度は卒園されたおさま・保護者さま・ご兄弟を夏祭りに招待したが、地域の方に向けてのイベントは実施の実績がなく、どのような交流ができるか検討しにくかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接している園と連携し、地域の方が参加しやすいイベントの実施を検討していく。 ・今年度卒園されたおさまとご家族を夏祭りに招待した実績を基に、地域の方の招待を検討していく。 ・地域交流を目的とした定期的な交流の機会を設ける。(感覚調整遊具の使用・子育て相談など)
2	戸外での活動ができないこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の形態上、利用時間が限られているため戸外での活動の時間の確保が難しい。 ・事業所の立地(交通量・用水・公園までの距離など)上、戸外での活動や移動も含め安全の確保がしにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内でも身体を動かせる遊びや活動を充実させていく。(感覚調整遊具・サーキット・リトミック・運動あそびなど) ・引き続き、季節ごとの行事を取り入れたり、活動で自然物を使用したりし、室内でも季節を感じられるようにする。